

10/29

包括的地域生活支援を考えるためのシンポジウム

ホームレスの自立支援・就労支援とは

労働に関する問題がクローズアップされています。「働きたいけど働けない人」、「失業者」にもカウントされない人、ニート、引きこもり、パート労働者、母子父子家庭、生活保護基準以下の収入で生活する「ワーキングプア」。

ホームレス問題も「就労」の問題であると言えます。しかしながら、それは単に仕事があれば解決できる問題ではありません。「ホームレス」状態にあるということは社会との関係を絶つことであり、その生活が長期化すればするほど新しく仕事に就いたり地域生活を再開したりすることがより困難となります。いざ仕事に就いても継続していくことは容易ではありません。生活習慣、人間関係、健康、債務問題、そして偏見。

こうした状況から脱却するためにはどのような社会的支援が必要なのでしょうか。ホームレスの就労支援活動をする中で我々は一つの答えにたどりつけました。それは、困難な状況から再び地域社会で働いて安心できる地域生活を送るために、様々な「ケア」が必要であるということです。

ここ数年間、東京では行政、民間企業、NPO、研究者など様々なセクターが連携しながらホームレスの自立支援事業を推進してきました。ホームレス自立支援法が施行されてから5年間が経過した現在、我々はこれまでの活動を見直すとともに、より広い視野から我々の活動の意義を捉えなおす段階にきていると考えています。

10月29日(日)午後1時半～4時半(開場は1時)

場所：財団法人東京しごと財団 講堂(裏面地図参照) 資料代：1000円

基調講演

ふくはら ひろゆき
福原 宏幸 氏

大阪市立大学大学院 経済学研究科 教授

失業や社会的排除の諸問題、およびそれらに対する対策について研究している。

パネリスト

いけだ みきお
池田 幹雄 氏

東京都福祉保健局生活福祉部計画課自立支援係長

主に東京都のホームレス自立支援事業に携わっている。

とみた かずゆき
富田 一幸 氏

株式会社ナイス 代表取締役

同社を通じて大阪市西成区の仕事づくりとまちづくりを展開している。

ふかわ ひさし
布川 日佐史 氏

静岡大学人文学部教授

2003年8月から2004年12月まで社会保障審議会福祉部会「生活保護制度の在り方に関する専門委員会」委員。

ふくはら ひろゆき
福原 宏幸 氏

大阪市立大学大学院 経済学研究科 教授

みずた めぐむ
水田 恵

特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会 代表
東京でホームレスの自立支援活動を展開している。

コーディネーター

やまおか よしのり
山岡 義典 氏

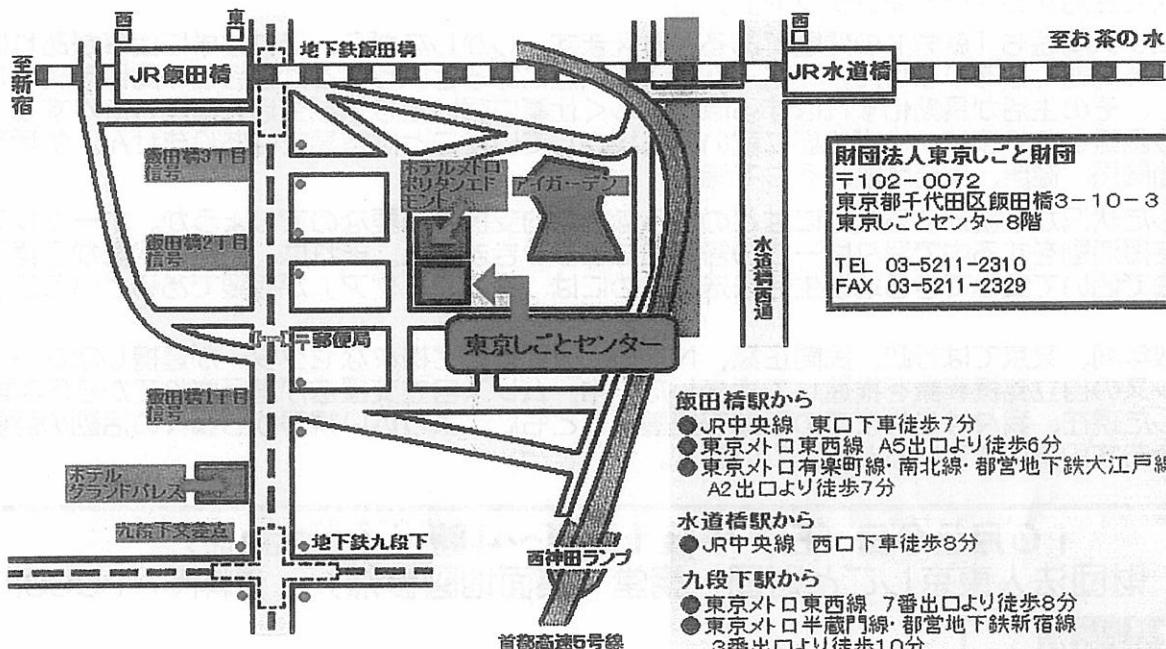
法政大学現代福祉学部教授、日本NPOセンター副代表理事

主催 NPO自立支援センターふるさとの会

会場のご案内

財団法人東京しごと財団

講堂



東京都千代田区飯田橋 3-10-3 東京しごとセンター8階 講堂



お問い合わせ

NPO 自立支援センターふるさとの会

(事務局)

東京都台東区千束4-39-6-4F

TEL 03-3876-8150

FAX 03-3876-7950

お申込み方法

下記に必要事項をご記入の上、上記のファックス番号へファックスしてください。
または、上記電話番号にご連絡の上お申し込み下さい。

ふりがな 氏名

*差し支えなければご記入お願いします。

所属団体名称	東京アーティスツ連合会	
部署名	事務局	
役職	事務局長	
ご連絡先	(TEL)	(FAX)

当日、会場でのお申込みも大歓迎です。